

区自治協議会提案事業 事業評価書

西区自治協議会

区 分	内 容
テーマ・事業名	防災に関する公開授業 【事業費予算 800千円】
事業目的・概要	子どもたちが、学校だけでなく地域と協力して災害時に行動し、被害を最小限に抑えるために必要なことは何かを伝える授業を実施する。
事業の実施実績 (実施回数、参加者数など)	【日時・会場】 平成27年11月30日(月)午後2時30分～3時50分 新潟市立五十嵐中学校 体育館 【講師】 危機管理教育研究所 代表 国崎 信江 氏 【授業テーマ】 地震や津波に備えて～みんなができること～ 【対象】 真砂小学校5～6年生、五十嵐小学校5～6年生、五十嵐中学校1年生 計570名 上記児童・生徒の保護者、周辺の地域の方、区内小中学校の防災担当教職員、コミュニティ協議会の防災担当
事業の評価 <small>(地域課題の抽出方法や企画立案の評価 事業の公益性・実効性・効率性の評価など)</small>	【アンケート結果】 ◆調査方法:対象児童・生徒に事前にアンケート配布を行い、後日無記名回答。 ◆有効回答:570名(有効回答率100%) 対象数:570名 ①授業を受けてみてどう思いましたか[大変良かった・良かった]…95.6% ②授業の内容は理解できましたか[よく理解できた・理解できた]…94.9% ③授業で学んだことを今後やってみようと思えますか[とても思う・思う]…92.4% ④授業で学んだことをお家の人とやってみようと思えますか[とても思う・思う]…85.7% ⑤このような授業をまた受けてみたいと思えますか[とても思う・思う]…75.4% 【良かった点】 ・講師の話がわかりやすく良かった。 ・使われた映像にインパクトがあり、子どもたちでも忘れないくらい印象強かったのではないかと。 【改善点】 ・保護者の参加が少なかった。 ・小学生には講演の時間が長かったのではないかと。 ・大人には理解出来たが、小学生には情報が多かったのではないかと。 ・バスの到着時間から授業開始までの時間が短い。 子ども達がトイレに行く時間等が短かった。 ・アンケートの設問に自由記述欄を設けたほうが良い。
備考	

区自治協議会提案事業 事業評価書

西区自治協議会

区分	内容
テーマ・事業名	高齢化をテーマにした講演会 【事業費予算 700 千円】
事業目的・概要	高齢化が進む中、アンチエイジングで著名な白澤卓二教授をお迎えし、手軽に日常生活でできる認知症予防実践策の紹介を通じて、高齢者が目標をもち楽しく100歳の健康長寿を目指していただくきっかけとなるよう講演会を開催する。
事業の実施実績 (実施回数、参加者数など)	<p>【日時・会場】 平成27年9月6日(日)午後2時30分～4時00分 黒崎市民会館1階ホール</p> <p>【講師】 順天堂大学大学院 医学研究科 加齢制御医学講座 教授 白澤卓二 氏</p> <p>【講演会テーマ】 100歳までボケない101の方法 ～元気で100歳を迎えるために～</p> <p>【参加者】 300名</p> <p>【その他の取組み】 講演会の開催と併せて、新潟市食生活改善推進委員と連携し、今後の習慣づくりに繋がるよう、講師監修の健康スープの試食提供とレシピ等配布を行った。</p>
事業の評価 <small>地域課題の抽出方法や企画立案の評価 事業の公益性・実効性・効率性の評価など</small>	<p>【地域課題の抽出とその解決策】 西区の高齢化率は、平成27年3月現在で26.6%に達し、まさに4人に1人が高齢者となる中、要介護認定者数も増加を続け、要介護認定者のうち約6割の方が日常生活に支障をきたす何らかの認知症の症状を有し、今後も認知症高齢者は増加していくことが予想されている。こうした中、手軽に日常生活でできる認知症予防実践策を学ぶ講演会を企画した。</p> <p>【アンケート結果】 ◆調査方法: 来場者を対象に当日アンケート配布を行い、退場時に無記名回答。 ◆有効回答: 164名(有効回答率54.6%) ①講演はいかがでしたか[大変参考になった・参考になった]…77.4% ②健康スープの試食やレシピは、今後の習慣や継続のきっかけになりましたか [大変参考になった・参考になった]…74.4% ③今後も高齢化講演会があれば参加したいですか[参考したい]…95.1%</p> <p>【良かった点】 ・食生活改善推進委員との連携により、レシピや減塩チラシの配布を行うことで、講演内容だけでなく、習慣づくりの実効性を高めることができた。 ・アンケート意見においても、日常生活での実践において参考となったとする感想が多くあった。</p> <p>【改善点】 ・専門的な話も含まれるため、一般により分かりやすい内容となるよう講師との調整が必要ではないか。 ・会場設定において、公共交通利便性もより重視すべきでないか。 ・スライドを使用する場合など、場面に適した手話通訳の立ち位置の検討。</p>
備考	

区自治協議会提案事業 事業評価書

西区自治協議会

区分	内容
テーマ・事業名	スポーツ鬼ごっこ普及啓発事業 【事業費予算 500 千円】
事業目的・概要	子どもからお年寄りまで年代や性別を問わず、誰もが楽しめるスポーツとして広がりを見せている「スポーツ鬼ごっこ」について、多世代交流や青少年の健全育成など、その多様な効果が発揮されるよう普及啓発を行う。 については、地域での活動の裾野が広がるよう、3級ライセンス取得者の増加に向けた講習会・見学会を実施する。
事業の実施実績 (実施回数、参加者数など)	【日時・会場】 平成28年3月5日(土)午後1時30分～4時30分 黒崎南小学校 体育館 【講師】 一般社団法人鬼ごっこ協会 理事 羽崎貴雄 氏 【参加者等】 ○受講者25名 ○見学者19名(うち、体験者10名) 【その他の取組】 坂井輪図書館の協力実施により、同館にてスポーツ鬼ごっこに係る図書展示を2月11日から3月1日まで行い、普及啓発を図った。
事業の評価 (地域課題の抽出方法や企画立案の評価 事業の公益性・実効性・効率性の評価など)	【地域課題の抽出とその解決策】 スポーツ鬼ごっこは、西区においてもふれあいスクールやスポーツ振興会等の取組により、徐々に広がりを見せているものの、ニュースポーツであるため知名度も低く、普及・定着するためにはきっかけと継続が必要となっている。 スポーツ鬼ごっこの多様な効果に着目し、屋外スポーツが減少する新潟の冬場においても取り組めるといった地域適合性も踏まえ、この普及啓発事業の取組を行う。 【講習会実施結果】 ・スポーツ振興会やスポーツ推進委員、コミュニティ協議会など、今後の展開に繋がりが得る地域の活動を行う方々の参加を得ることができた。 ・20代から70代まで幅広い世代から受講いただいたほか、市外及び西区外からの参加も得ることができた。 【良かった点】 ・地域のスポーツ振興会やスポーツ推進委員、既ライセンス取得者等の運営協力を得て、協働により講習会開催を実施することができた。また、こうした中、今後のスポーツ鬼ごっこの普及促進に向けた活動主体となる任意団体の発足を支援することができた。 ・上記の協働による運営実施により、委託料等の経費節減を図ることができた。 ・講習会の開催について広くメディア掲載されることで、スポーツ鬼ごっこの取組について一層の周知が図られた。 【改善点】 ・より一層の活発化に向けて、企画の当初段階より、地域のスポーツ振興会やスポーツ推進委員、そしてこの度発足した任意団体と協働して取り組んでいく必要がある。 ・各団体に冬場において取り組んでもらえるよう、効果的な開催時期の検討。 ・指導者育成のための講習会と、一般を対象とした体験会の構成バランスの検討。
備考	

区自治協議会提案事業 事業評価書

西区自治協議会

区分	内容
テーマ・事業名	<p>西区特産品・観光地カレンダー 【事業費予算 1,200千円】</p>
事業目的・概要	<p>区特産物の消費や交流人口の拡大を図るため、西区の特産物・観光地などの写真等を用いたカレンダーを作成し、主に西区民向けに市内施設やイベントにて配布する。</p>
<p>事業の実施実績 (実施回数、参加者数など)</p>	<p>○カレンダーの規格:A3・二つ折り・中綴じ (A4・28ページ・月めくりタイプ) ○カレンダーの構成等 各月ごとに、西区の写真と区観光地・特産物にちなんだキャラクターを組み合わせ、西区の魅力を紹介。 巻末ページには、西区ガイドマップを掲載。 ○カレンダー用にキャラクターを制作 ・制作:新潟大学教育学部の協力により学生から12体のキャラクターを作成してもらう。 ・制作数:計12体(新規キャラクター 10体、既存キャラクターのアレンジ 2体) ○作成部数:10,000部 【配布等内訳】 市民配布(公共施設等での配布) 6,800部(うちアートフェスティバルでの配布分 900部) 医療機関・福祉施設等掲示 1,103部 各種学校配布・掲示 1,590部 自治会・コミ協 372部 公共施設掲示等 135部</p>
<p>事業の評価</p> <p>(地域課題の抽出方法や企画立案の評価 事業の公益性・実効性・効率性の評価など)</p>	<p>【地域課題の抽出とその解決策】 西区は、歴史や産業などが異なる地域(坂井輪地区・西地区・黒埼地区)で構成されており、魅力豊かな区であるが、特産物の消費や交流人口のより一層の拡大を図るにはPRが十分であるとは言えない。現在、区をPRする媒体として、西区ガイドマップがあるが、より効果的にPRするためには、区の魅力を発信する新たな媒体が必要である。 新たな媒体は、日常的に目に触れる機会が多いカレンダー一体型とし、制作にあたっては、できるだけ住民や大学生が参画できる機会を設け、区民の一体感の醸成を図る。</p> <p>【アンケート結果】 ◆調査方法:市民配布場所にアンケート用紙を設置 ◆有効回答:1,215名(有効回答率17.8%) ①カレンダーはいかがですか[とても良い・まあまあ良い]・・・89.1% ②キャラクターはいかがですか[とても良い・まあまあ良い]・・・82.3% ③掲載情報は役に立つか[とても役に立つ・まあまあ役に立つ]・・・90.8% ④カレンダーのサイズはいかがですか[ちょうどよい]・・・79.0% ⑤自由記載欄の主なコメント ・特産品や観光地など西区の魅力を新発見・再発見できて良い。 ・写真やキャラクターを用いていて好印象。 ・来年度も制作してほしい。</p> <p>【評価】 広く区内・区民に配布できたこと、また、委員が直接聞く市民からの声やアンケート結果からも、企画・内容が高評価であったことから、高い公益性と実効性を伴う事業であった。この事業が、今後、区特産物の消費や交流人口の拡大に寄与することを大いに期待したい。</p> <p>【今後の課題】 ・写真などの素材収集や編集には、十分な期間を確保した方が良い。 ・区外にもPRするのであれば、掲載情報など西区のことを知らない人でもわかるような工夫が必要である。 ・配布先、掲示場所にもう一工夫が必要できるように検討する。</p> <p>【今後の取組】 ・ターゲットを区民向けを中心としながらも、西区の広報媒体として活用できる内容として次年度も新たなカレンダーを制作する。 ・次年度の制作の際には、市民参画の機会の拡大に努める。(写真の公募など)</p>
備考	

区自治協議会提案事業 事業評価書

西区自治協議会

区分	内容
テーマ・事業名	第3回西区アートフェスティバル 【事業費予算 1,800 千円】
事業目的・概要	<p>【目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「アート」の表現を通して西区全体の文化風土を耕して、区民の一体感を醸成する。 ・西区でアートの表現活動に取り組んでいる団体等に発表の場を提供し、幅広い区民から知ってもらおう。 ・大学の存在をはじめ、学術・文化豊かな西区のパワーを発信する。 <p>【概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合奏、合唱、芸能、ダンスの団体の発表の場として開催した。
事業の実施実績 (実施回数、参加者数など)	<p>【開催日・会場】:平成27年10月25日(日) 黒崎市民会館1階ホール</p> <p>【出演団体】:14団体</p> <ul style="list-style-type: none"> 《合奏》新通ジュニアウインドアンサンブル(新通小)、坂井輪中学校吹奏楽部、オカリナサークル風人、西内野コミ協吹奏楽団 《合唱》新潟清心女子中学・高等学校合唱部、新大室内合唱団(カンマーコール)、コーラス円 《芸能》笠木小学校(樽太鼓)、佳月会、三津美会、アロハ・メイツ、大野基句サーアーエー・キッズ 《ダンス》日本文理高等学校チアリーディング部、T-ROOP DANCE COMPANY <p>【出演者】:約290人</p> <p>【来場者】:延べ755人</p>
事業の評価 <small>(地域課題の抽出方法や企画立案の評価 事業の公益性・実効性・効率性の評価など)</small>	<p>【地域課題の抽出とその解決策】</p> <p>西区は、坂井輪地域・西地域・黒崎地域の3地域で構成されているため、各地域の文化活動は盛んだが、西区が一体となった文化活動が見られなかった。そこで、区民の一体感を醸成を目指し、西区で音楽活動などに取り組んでいる団体に発表の場を提供した。</p> <p>【アンケート結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆調査方法:来場者を対象に当日アンケート配布を行い、退場時に無記名回答。 ◆有効回答:306名(有効回答率40.5%) ①アートフェスティバルはいかがでしたか[とても良い・まあまあ良い]…85.7% ②プログラムの構成はいかがでしたか[とても良い・まあまあ良い]…73.7% <p>【評価(成果)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・秋のイベントが集中する時期にもかかわらず、広く周知することにより、来場者が増え、高い公益性と実効性が得られた。 ・プログラムの構成を来場者が楽しめるように工夫し、好評であった。 ・アンケートで継続の要望が多く寄せられたため、第4回も開催することとした。 ・昨年の課題であった鑑賞マナーの向上については、出演団体への周知やプログラム・入退場の工夫などにより、改善できた。 ・出演予定団体の一つが、全国大会出場により欠場となったが、プログラムの見直しなどにより、大きな穴が空くことなく運営できた。 ・新たな取り組みとして、区民生活課主催「ポイ捨て防止啓発ポスター展」の展示コーナーを併設し、来場者から受け入れられていた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・休憩が多いとの意見があるため、プログラムと舞台転換に関して更なる改善が必要。 ・アートの要素が少ない。 ・会場が固定化しているため、他会場での開催についても検討が必要だが、駐車場や出演者の待機場所、ステージ転換などを考慮すると、現会場が最適な状況である。 <p>【今後の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出演団体の参加意欲に繋がるような発表の場として開催を継続していく。 ・新たにアート作品展示も同時開催するため検討を進める。
備考	